

一般財団法人国際法学会平成 27 年度事業報告及び決算と平成 28 年度事業計画のご報告

平成 27 年度事業報告及び決算については監事監査を受けたのち、2016 年 6 月 18 日開催の定時評議会で承認を得ましたので、一般財団法人国際法学会定款第 10 条（事業報告及び決算の評議員会による承認と貸借対照表及び損益計算書の公告）に基づき、この結果を HP においてお知らせ申し上げます（事業報告及び決算は毎年度掲載している欄に掲げております）。

平成 27 年度事業報告の主要なものは以下の通りです。

●定款第 4 条第 1 号関係

3-4 頁：研究振興委員会が、「研究資料・情報に関するポータルサイト」のリンク集作成作業を進めるとともに、「主要文献目録」を学会 HP で公開するための実施作業を進めた。

4-5 頁：エキスパートコメント委員会がコメント作成のための準備作業を行った。

●同第 2 号関係

5 頁：2016 年 7 月 21-22 日にカナダ・ウォータールーで開催される第 6 回 4 学会（日・米・加・豪 NZ）国際会議に本学会から参加する 4 名の会員を公募で決定した。

5-6 頁：2015 年 10 月 25 日に東京大学・山上会館で国際法学会主催の第 2 回市民講座「食と国際法」を開催するとともに、2015 年 9 月 11～12 日に弁護士会館で開催された日弁連主催「国際分野で活躍するための法律家キャリアセミナー」に対して後援を行った。

●同第 3 号関係

6-7 頁：国際法外交雑誌 114 巻 1-4 号を刊行した。総頁数は 582 頁で、論説 13 本、研究ノート 2 本、資料 4 本、紹介 11 本、会報 12 本、総目次という構成となった。

●同第 4 号関係

7-8 頁：国際法学会 2015 年度（第 118 年次）研究大会は、2015 年 9 月 18 日（金）、19 日（土）、20 日（日）に名古屋国際会議場において開催され、368 名の参加者を得た。なお、大会 2 日目終了後、同会議場内のレストラン「カスケード」において懇親会が開催され、153 名の会員が出席した。

●同第 5 号関係

8-9 頁：小田滋賞については学会 HP の記事をご覧ください。

9 頁：若手研究者育成事業として、2014 年 8 月 27 日（木）・28 日（金）に外務省と協力して開催された「国際法模擬裁判アジアカップ 2015」では、アジア 11 カ国から 31 大学が書面を提出し、書面審査を通過した 11 カ国 12 大学の学生が東京での大会に参加して口頭弁論を行った結果、マレーシアのマラヤ大学が総合優勝し、シンガポールのシンガポール経営大学が準優勝の成績を収めた。

また、2016 年 2 月 20 日（土）・21 日（日）に同志社大学と京都大学で開催された「ジェサップ国際法模擬裁判 2015」日本予選大会では、裁判官等での協力を行った。結果は、早

稲田大学が優勝し、京都大学が準優勝であった。

10 頁：ホームページ委員会では、日常的に学会 HP 上の情報の更新を行った。また会員委員会はニューズレターと会員名簿の発行の準備を進めた。

●管理・運営関連

新法人移行後の学協会サポートセンターとは委託業務について 2014 年度に締結した契約は 2016 年度の 2 年間の有効期間であったが、当事者のいずれも終了の申し入れを行わなかったことから自動的に 2 年間延長され、2018 年 3 月 31 日まで延長となった。また国際法外交雑誌の学会誌の印刷、出版および編集作業に関する契約書は、随意契約となったことを受けて富山房インターナショナルと締結した。

2015（平成 27）年 6 月 21 日に開催された 2015 年度第 1 回（通算第 10 回）評議員会（定時）において、定款第 14 条 3 項に基づき、田中則夫副会長の逝去により空席となっていた副会長に薬師寺公夫評議員が選任された。また外務省国際法局長の交替に伴い秋葉剛男評議員が辞任し、2015（平成 27）11 月 6 日に開催された 2015 年度第 2 回（通算第 11 回）評議員会（臨時）（電磁的方法）により、齋木尚子が評議員に選任された。

定款第 16 条 1 項により、一般財団法人国際法学会の最初の評議員の任期は、2016 年 6 月末までに開催される 2016（平成 28）年度の評議員会（定時）の終結の時までであることから、2014 年度第 5 回（通算第 9 回）評議員会（臨時）で承認された「評議員の改選に関する規程」に基づき、第 2 期評議員の選任に関する準備が行われた。

また、定款第 31 条 1 項により、一般財団法人国際法学会の第 2 期理事の任期は、2016 年 6 月末までに開催される 2016（平成 28）年度の評議員会（定時）の終結の時までであるため、2014 年度の評議員会（定時）開催日から 2016 年度の評議員会（定時）開催日までを任期とする第 3 期理事の選任の準備が行われた。なお、2015（平成 27）年 6 月 21 日に開催された評議員会において、学会運営の円滑化のため、定款第 27 条 1 項(1)を変更して理事の数を「8 名以上 11 名以内」から「11 名以上 20 名以内」へ、同条 3 項を変更して業務執行理事の上限数を「8 名以内」から「15 名以内」とすることが、定款第 47 条に基づき承認された。

平成 27 年度公益目的支出計画実施報告は、多胡・岩田・田村法律事務所並びにいずみ会計事務所の助言、作成業務を得て 2016 年 6 月 28 日に提出した。

●会計決算

決算報告書を参照されたい。コンベンション方式による研究大会の開催経費など支出増への長期的対応が引き続き求められる。

平成 28 年度事業計画の主なものをご報告いたします。

●定款第 4 条第 1 号関係

①「研究資料・情報に関するポータルサイト」のリンク集と 2015 年度主要文献目録を学会 HP に掲載し公開する。

②エキスパートコメントを順次作成する。

●同第 2 号関係

2018 年夏に日本で開催される予定の第 7 回 4 学会（日・米・加・豪 NZ）国際会議について準備を行う。

●同第 3 号関係

国際法外交雑誌 115 巻 1-4 号を刊行する。

●同第 4 号関係

①2016 年度研究大会を 2016 年 9 月 9・10・11 日に静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップで開催する。

②小田基金に基づく小田滋 ICJ 判事記念レクチャーシリーズを 2016 年度研究大会で実施する。

●同第 5 号関係

①第 4 回小田滋賞の募集を開始する。

②アジアカップ模擬裁判を 2016 年 8 月 23・24 日の予定で外務省と協力して実施する。

③ジェサップ国際法模擬裁判日本国内予選大会に協力する。

2016 年 12 月

前代表理事 坂元茂樹